

常盤台便り

Letter from the Residential Tokiwadai

第38号 2015年2月15日



福を呼ぶ! 常盤台で鬼退治



毎年恒例! 今年はさらにグレードアップ!



末年の年男・年女総勢 15 名が
勢ぞろい!



今年の鬼は強いぞ~! ?



ならば私たちがお相手よ!



ご利用者様「鬼さん鬼さん
睨めっこしましょ!」
鬼「?!」



各番街、鬼の撃退に成功!
福は~内!



鬼退治お疲れ様でした!
これでレジデンシャル常盤台にも
春が到来すること間違いなし!

記者: 神名・國友・西巻

テーマは“リスペクトケア”

記者: 野藤

権利擁護委員会では 11 月、リスペクトケアを推進していくための標語を募集しました。ご利用者の皆様、ご家族、職員より、なんと64通もの応募があり、“リスペクトケア” に対し関心が高いことが分かりました。応募された標語について喧々囂々の審査の結果、以下の作品を優秀標語として選ばせて頂きました。各賞に選ばれた方々には、1月28日に表彰状と副賞を贈呈致しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

最優秀賞

『伝えよう つないだ手から 思いやり』

受賞者 リナエイド 池田さとみ

最優秀@体賞

『優しさと敬う気持ち… 笑顔添えて』

受賞者 医務室一同

優秀賞

『自分がされたらイヤなこと
言わない やらない 絶対しない』

受賞者 介護支援課 市川智子

権利擁護委員会賞

『顔を見て 声かけて 手を添えて
心掛けようリスペクト』

受賞者 佐藤綾子様 (2番街宮澤八重子様のご家族様)

施設長賞

『リスペクト それはみんなの 合言葉』

受賞者 事務・相談係

副施設長賞

『たくさんの言葉がある。
でも「リスペクト」に全部入ってる。』

受賞者 医務室 松本由佳



公開講座「不適切ケアってなあに？」 ～今一度振り返りましょう、あなたのケア～

2月12日（木）に小川佳子弁護士を講師にお招きし、公開講座を開催しました。「不適切ケアってなあに？」をテーマに、2時間にわたり過去の裁判事例をもとにお話いただきました。



判例を聞いて“ドキッ”とすることもありましたが（笑）、職員は自分のケアを振り返る良いきっかけとなったようです。



介護業界ではHOTなテーマだけあって、当施設職員は80名、外部からも11名が受講。尚、小川先生は当法人の第三者委員でもあります。

記者：研修委員会 藤原舞

桜咲け！～介護福祉士 受験体験記～



レジデンシャル常盤台が開設した平成23年より、ケアワーカーとして働いていた私たちは、“介護福祉士”という国家資格を得る為の条件である“3年の介護実務経験”をクリアし、受験資格を手に入れました。

そして1月25日。第27回介護福祉国家試験を総勢13名で受験して来ました。

とても緊張しましたが、これまで仕事で培ってきた知識や、施設長の厳しい研修を思い出しながら、力を出し切ってきました。



受かっていても、そうでなくても……勉強したことを無駄にしないよう、これからのケアに活かして行きたいと思います。

でもすべての桜が満開になるといいな！



記者：小泉

Only One

3番街・川添秋野さまの Only One

今回の Only One は、3番街3丁目1番地にお住いの川添秋野様です。川添様は32歳で旦那様を亡くされ、女手一つで5人のお子様を育ててきたそうです。

「母が寝てる姿を見たことがありません」と娘様が語るほどお仕事をされていたとか。海苔の養殖から競輪場のお仕事など多方面で働かれ、お仕事の合間には畑仕事と、正にお仕事尽くしだったとのこと。

そんな川添様にとって、最も楽しくくつろげる時間は、庭の薔薇の手入れと2匹の愛犬と過ごされている時でした。今でも川添様は「あの子たちに餌をやらないと」と愛犬たちに思いを馳せていらっしゃいます。

お庭の薔薇の一部は、レジデンシャル常盤台の前庭に移植され、毎年素敵な花を咲かせてくれています。



記者：小泉・國友

編集後記

積雪・感染症……とまだまだ気を抜くことは出来ません。が！ もうそこに春が……：D